

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」講演会
折尾愛真短期大学第１３回公開講座

講演会

北九州の鉄道史



日時 令和８年１１月２７日（金）１３時３０分～１５時３０分

定員 ４０名（先着順） ※無料

申込先：093-602-2105（折尾愛真短期大学）

渡部 邦昭氏（九州歴史資料館学芸員）

昭和62年、北海道札幌市出身、北海道大学文学部、北海道大学大学院文学研究科を経て、平成23年より現職。
専門は日本近代史、特に福岡県の鉄道史や、戦時中の広域行政機関の研究など。
主な著作に『みやま市史　通史編下巻』（共著）、『新修宗像市史　海の道・陸の道』（共著）など。

企画展

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」

世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」（北九州市・大牟田市・中間市）は、19世紀の半ばから20世紀の初頭にかけて、重工業分野において急速な産業化を進め、日本を世界の経済大国に押し上げた過程を証言する遺産です。

日時 講演会参加者向け：
令和8年11月27日（金）13時～16時
一般公開（申込不要）：
令和8年11月28月（土）10時～16時
29日（日）10時～13時

内容 パネル展示 ※無料

会場 折尾愛真学園記念館（北九州市八幡西区堀川町１２－１０）

主催 「明治日本の産業革命遺産」福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・北九州市・大牟田市・中間市）／学校法人折尾愛真学園